

## 02 乳癌

※ レジメン名称を **クリック**または **Ctrl + クリック**してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“現在のページを印刷する”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備考
1	共通	02002-3A	<a href="#">EC75</a>	
2	共通	02002-4A	<a href="#">EC100</a>	
3	共通	02003-1A	<a href="#">Doc75</a>	
4	共通	02005-1A	<a href="#">Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
5	共通	02005-2A	<a href="#">Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)</a>	
6	共通	02006-5A	<a href="#">Pacli w 療法(2週目)</a>	
7	共通	02006-6A	<a href="#">Pacli w 療法(3週目)</a>	
8	共通	02006-8A	<a href="#">Pacli w 療法(1週目)</a>	
9	共通	02008-1A	<a href="#">TC 療法</a>	
10	科別(乳腺)	02009-1B	<a href="#">トラスツズマブ(4mg)(初回)</a>	
11	科別(乳腺)	02009-2B	<a href="#">トラスツズマブ(2mg)(2q 以降)</a>	
12	科別(乳腺)	02010-1B	<a href="#">トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
13	科別(乳腺)	02010-2B	<a href="#">トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)</a>	
14	科別(乳腺)	02011-1B	<a href="#">アブラキサン(3w)(乳)</a>	
15	科別(乳腺)	02012-1B	<a href="#">エリブリン(2投1休)</a>	
16	科別(乳腺)	02013-1B	<a href="#">GEM(2投1休)</a>	
17	科別(乳腺)	02015-1B	<a href="#">GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)</a>	
18	科別(乳腺)	02015-2B	<a href="#">GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)</a>	
19	科別(乳腺)	02016-2B	<a href="#">GEM+Pacli</a>	
20	科別(乳腺)	02017-1B	<a href="#">VNR(2投1休)</a>	
21	科別(乳腺)	02019-1B	<a href="#">VNR(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
22	科別(乳腺)	02019-2B	<a href="#">VNR(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)</a>	
23	科別(乳腺)	02020-2B	<a href="#">ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3投1休)</a>	
24	科別(乳腺)	02021-1B	<a href="#">CMF(original)(入院用)</a>	
25	科別(乳腺)	02021-2B	<a href="#">CMF(original)(外来用)</a>	
26	科別(乳腺)	02022-1B	<a href="#">CMF(modified)</a>	
27	科別(乳腺)	02023-1B	<a href="#">CPT-11 original(3投2休)</a>	
28	共通	02024-1A	<a href="#">Doc75+ヘルツズマブ+トラスツズマブ(3w)(初回)</a>	
29	共通	02024-2A	<a href="#">Doc75+ヘルツズマブ+トラスツズマブ(3w)(2q以降)</a>	
30	共通	02027-1A	<a href="#">カドサイラ療法</a>	
31	科別(乳腺)	02028-1B	<a href="#">エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回</a>	
32	科別(乳腺)	02028-2B	<a href="#">エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q 以降</a>	

## 02 乳癌

※ レジメン名称を クリックまたは Ctrl + クリックしてください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“現在のページを印刷する”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備考
33	共通	02029-1A	<a href="#">Doc+CBDCA+トラスツズマブ (8mg)(3w)(初回)</a>	
34	共通	02029-2A	<a href="#">Doc+CBDCA+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)</a>	
35	共通	02030-5A	<a href="#">ペルツスマブ+トラスツズマブ+Paclitaxel(初回)(1週目)</a>	
36	共通	02030-6A	<a href="#">ペルツスマブ+トラスツズマブ+Paclitaxel(初回)(2週目)</a>	
37	共通	02030-7A	<a href="#">ペルツスマブ+トラスツズマブ+Paclitaxel(DEX1.65mg)</a>	
38	共通	02030-8A	<a href="#">ペルツスマブ+トラスツズマブ+Paclitaxel(2q 以降)(1週目)</a>	
39	共通	02031-1A	<a href="#">dose-dense EC療法</a>	
40	共通	02032-1A	<a href="#">TC+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
41	共通	02032-2A	<a href="#">TC+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)</a>	
42	共通	02033-1A	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法(初回)</a>	
43	共通	02033-2A	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法(2q 以降)</a>	
44	共通	02034-5A	<a href="#">トラスツズマブ(3w) + パクリタキセル(1q目)(1週目)</a>	
45	共通	02034-6A	<a href="#">トラスツズマブ(3w) + パクリタキセル(1q目)(2週目)</a>	
46	共通	02034-7A	<a href="#">トラスツズマブ(3w) + パクリタキセル(DEX1.65mg)</a>	
47	共通	02034-8A	<a href="#">トラスツズマブ(3w) + パクリタキセル(2q 以降)(1週目)</a>	
48	共通	02035-2A	<a href="#">ドーズデンスパクリタキセル療法</a>	
49	共通	02036-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+ゲムシタбин+カルボプラチニ療法(3週間間隔)</a>	
50	共通	02037-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間隔) + パクリタキセル療法(12週間隔)1クール目</a>	
51	共通	02037-2A	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間隔) + パクリタキセル療法(12週間隔)2クール目以降</a>	
52	共通	02038-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(400mg 6週間間隔) + パクリタキセル療法(12週間隔)1クール目</a>	
53	共通	02038-2A	<a href="#">ペムブロリズマブ(400mg 6週間間隔) + パクリタキセル療法(12週間隔)2クール目以降</a>	
54	共通	02039-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間隔) + nab-Paclitaxel 療法(12週間隔)</a>	
55	共通	02040-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(400mg 6週間隔) + nab-Paclitaxel 療法(12週間隔)</a>	
56	共通	02041-1A	<a href="#">ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法</a>	
57	共通	02042-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチニ(3週間隔)</a>	
58	共通	02043-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチニ(1週間隔)</a>	
59	共通	02044-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+EC</a>	

60	共通	02045-1A	<u>ペムブロリズマブ（術後)(3w)(乳癌)</u>	
61	共通	02046-1A	<u>ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)</u>	
62	共通	02047-1A	<u>トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)</u>	
63	共通	02048-1A	<u>【初回】フェスゴ配合皮下注 IN</u>	
64	共通	02048-2A	<u>フェスゴ配合皮下注 MA(維持)</u>	
65	共通	02049-1A	<u>(1-1)PTX+フェスゴ配合皮下注 IN</u>	
66	共通	02049-2A	<u>(1-2)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA</u>	
67	共通	02049-3A	<u>(1-3)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA</u>	
68	共通	02049-4A	<u>(2-1 以降)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA</u>	

02002

## 乳癌

EC

申請科

外科

H28.10改訂 H29.10改訂 H30.3改訂 H30.9改訂 H31.1改訂 R3.2改訂 R4.3改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	75又は100mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m <sup>2</sup>	div.	day1

3週毎

術後補助:4-6クール

再発進行癌:耐性まで or エピルビシン 900mg/m<sup>2</sup>まで

化療ベット予約:1時間で登録

## Regimen

15分	<b>day1</b> メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1B  側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( )mg  側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg  側③生理食塩液 50mL 1B		
		<b>備考</b>	
		【レジメンシステム登録】	
		02002-3A EC75 ·EPI 75mg/m <sup>2</sup> 02002-4A EC100 ·EPI 100mg/m <sup>2</sup>	
		* 02002-3A、4A は H29.10 に追加  ·支持療法はセット処方でオーダー アプレピタント 125mg 1CP 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分 1 朝食後 day2,3 テガドロン 0.5mg 8錠分 2 朝昼食後 day2~4 ロラゼパム 0.5mg 2錠分 2 朝夕食後 day1 夕~day4 ノバミン 3錠分 3 每食後 day1 夕~day4	

02003

乳癌

Doc75

申請科

外科

H.27.7 改訂 H30.3 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
<b>3週毎</b>			
耐性になるまで			
<b>化療ベット予約:2時間で登録</b>			
<b>Regimen</b>			
30分	<b>day1</b> メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
【レジメンシステム登録】 02003-1A Doc75			

02005

乳癌

Doc75+トラスツズマブ(3w)

申請科
外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)	
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min) ※	day1	3週毎
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h以上)	day1	3週毎

耐性になるまで

化療ペット予約:2時間30分で登録

## Regimen

5分 ※	day1 メイン①生理食塩液50mL  側①生理食塩液 250mL or トランシット管 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B		
			<b>備考</b>	
90分 or 30分			※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg	
30分	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg デキサート注 6.6mg	1V		
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル ( )mg	1B	【レジメンシステム登録】 02005-1A Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL	1B	02005-2A Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録	

02006

乳癌

Pacli w 療法

申請科
外科

H22.5 改訂 H30.9 改訂 H31.1 改訂 R3.9 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	weekly

12週連続

耐性になるまで

(外来)化療ベット予約:2時間で登録

Regimen

	day1			備考
10分	メイン①生理食塩液 100mL ※デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg ポララミン注 5mg	1B	1V	※デキサート注 (初回) 1週目 6.6mg、2週目 3.3mg (3q以降) 3週目以降 1.65mg
30分	側①生理食塩液 50mL	1B		・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL パクリタキセル点滴静注液( )mg	1B		【レジメンシステム登録】 02006-5A Pacli w 療法(2週目) ・2週目のみのレジメン。DEX3.3mg
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		02006-6A Pacli w 療法(3週目) ・3週目のみのレジメン。DEX1.65mg 02006-8A Pacli w 療法(1週目) ・1週目のみのレジメン。DEX6.6mg

02007

乳癌

Pacli w 療法+トラスツズマブ

申請科  
外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/Kg 2回目以降 2mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※1	day1、8、15、22
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15

再発・難治の場合:耐性になるまで

術前術後化学療法の場合:パクリタキセルとトラスツズマブを毎週投与(12週)

(外来)化療ベット予約:day1,8,15は2時間30分、day22は1時間で登録

## Regimen

5分 ※1	day1、8、15 メイン①生理食塩液50mL 1B	-側②生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため 側管から投与。(また、トラスツズマブと糖液の混合も回避)
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	-トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解 し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 -蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg
10分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1V	
30分 60分	側②生理食塩液 50mL 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02007-5A Pacli w 療法(1週目)+トラスツズマブ(4mg) ・1週目のみのレジメン。トラスツズマブ 90分、DEX6.6mg 02007-6A Pacli w 療法(2週目)+トラスツズマブ(2mg) ・2週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30分、DEX3.3mg 02007-7A Pacli w 療法(3週目)+トラスツズマブ(2mg) ・3週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30分、DEX1.65mg
5分 ※1	day22 メイン①生理食塩液50mL 1B	
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL 1B	

## 備考

※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。

※2 デキサート注

初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg

02008

乳癌

TC療法

申請科

外科

H21.8 承認 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1

3週毎

6回(標準4回)

化療ベット予約:2時間30分で登録

## Regimen

	day1		
30分	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 2B		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン ( )mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50ml 1B	備 考	<p>【レジメンシステム登録】 02008-1A TC療法</p>

02009

乳癌

トラスツズマブ

申請科
外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min) ※	weekly(休薬なし)

耐性になるまで

化療ベット予約: 1時間で登録

## Regimen

	Weekly day1		
		備考	
5分	メイン①生理食塩液50mL	1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
※			・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。
90分	側①生理食塩液 250mL	1B	・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg
or	トラスツズマブ ( )mg		
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL		
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL	1B	【レジメンシステム登録】 02009-1B トラスツズマブ(4mg)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02009-2B トラスツズマブ(2mg)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録

02010

乳癌

トラスツズマブ(3w)

申請科
外科

平成23年5月登録 H27.7改訂 H30.9改訂 R2.6改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div (初回90min以上) (2回目以降30min) ※	Day1

3週毎

化療ベット予約:1時間で登録

## Regimen

5分 ※ 90分 or 30分	<b>day1</b>  メイン①生理食塩液50mL  側①生理食塩液 250mL トランズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トランズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	
			<b>備考</b>  ※トランズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 トランズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg <b>【レジメンシステム登録】</b> 02010-1B トランズマブ(8mg)(3w)(初回) トランズマブ投与時間 90分で登録 02010-2B トランズマブ(6mg)(3w)(2q以降) トランズマブ投与時間 30分で登録
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL	1B	

02011

乳癌

アブラキサン(3w)(乳)

申請科
外科

平成22年11月承認 H23.7月改訂 H30.9改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	260mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約: 1時間で登録

## Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		
	側①生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( ) mg		
30分	側②生理食塩液 50mL 1B		
全開 (5分)	※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食 塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL)=  $\frac{260\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$		
<b>備 考</b>			
<p>※アブラキサン注は特定生物由来製品であるた め、使用にあたっては、その旨を患者に説明 し、同意を得てから使用する。</p> <p>・投与時、インラインフィルターは使用しない。</p> <p>【レジメンシステム登録】 02011-1B アブラキサン(3w)(乳)</p>			

02012

乳癌

エリブリン(2投1休)

申請科
外科

H23.8 承認、H25.3 改訂(DEX 追加) H30.9 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1.4mg/m <sup>2</sup>	div(2~5分)	Day1、8

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約: 30 分で登録

## Regimen

10分 5分 全開 (5分)	day1、8		
	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V		
	側①生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ( ) mg		
	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<p>【レジメンシステム登録】            02012-1B エリブリン(2投1休)            ・投与時間 5 分で登録</p>			

02013	乳癌	GEM(2投1休)	申請科 外科
-------	----	-----------	-----------

平成22年5月承認 H28.9改訂 H29.6改訂 H30.9改訂 R2.6改訂 R3.5改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8 2投1休

2投1休

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間30分で登録

Regimen			
30分	day1、8  メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
		備 考	
		【レジメンシステム登録】 02013-1B GEM(2投1休)	

02015

乳癌

GEM(2投1休)+トラスツズマブ(3w)

申請科

外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div 初回 90min以上 2回目以降 30min※	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8 2投1休

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約: day1 は 2 時間、day8 は 1 時間 30 分で登録

Regimen

5分 ※ 90分 or 30分	<b>day1</b> メイン①生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	30分 30分 全開 (5分)	<b>day8</b> emain①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V 側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg 側②生理食塩液 50mL 1B
	<b>備 考</b>		
30分 30分 全開 (5分)	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V 側③5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg 側④生理食塩液50mL 1B		<p>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</p> <p>・蒸留水は体重換算の量で登録  <math>6\text{mg/kg} \rightarrow 0.286\text{mL/kg}</math>  <math>8\text{mg/kg} \rightarrow 0.381\text{mL/kg}</math></p> <p><b>【レジメンシステム登録】</b></p> <p>02015-1B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回クール用</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録</li> </ul> <p>02015-2B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 クール目以降用</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録</li> </ul> <p>・2018年6月委員会にて投与順序変更を承認  GEM→トラスツズマブからトラスツズマブ→GEMへ変更</p>
<b>備 考</b>			<p>※トラスツズマブは初回投与の耐容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。</p>

02016

乳 瘤

GEM+Pacli 療法

申請科
外科

H22年5月承認、H26年3月改訂 H28.9 改訂H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R4.3 改訂

R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	175mg/m <sup>2</sup>	div. (180分).	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8

耐性になるまで、3週毎

(外来)化療ベット予約: day1 は 4 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録

## Regimen

15 分	<b>day1</b>	15 分	<b>day8</b>
	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 3V ファモチジン注20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V
	30 分 側①生理食塩液 100mL 1B		側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg
	180 分 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg		側②生理食塩液 50mL 1B
	30 分 側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		全 開 (5 分)
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B		<b>備 考</b>
			・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。  【レジメンシステム登録】 02016-2B GEM+Pacli

02017

乳癌

VNR(2投1休)

申請科
外科

H.27.7 改訂 H30.9 改訂 R3.10 改訂 **科別(乳腺)**

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ロゼウス静注液 (vinorelbine)	25mg/m <sup>2</sup>	i.v.	day1, 8

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間で登録

## Regimen

全開 (5分)	day1、8		
	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
	側①生理食塩液 50mL	1B	
	ロゼウス静注液 ( )mg		
	側②生理食塩液 250mL	1B	
30分	デキサート注 6.6mg	2V	
	ポート①生理食塩液 20mL	1本	<p><b>備 考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WBC2000未満の時は投与延期。</li> </ul> <p>【レジメンシステム登録】 02017-1B VNR(2投1休)</p>

02019

乳癌

VNR(2投1休)+トラスツズマブ(3w)

申請科
外科

H23.5 登録 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.10 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	Day1
ロゼウス静注液 (vinorelbine)	25mg/m <sup>2</sup>	i.v.	Day1, 8

3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:day1は1時間30分、day8は1時間で登録

## Regimen

5分	<b>day1</b>		<b>day8</b>
	メイン①生理食塩液50mL	1B	
※			5分 側①生理食塩液 50mL 1B
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	30分 ロゼウス静注液 ( )mg 側②生理食塩液 250mL 1B デキサート注 6.6mg 2V ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ
5分	側②生理食塩液 50mL ロゼウス静注液 ( )mg	1B	<b>備 考</b>
30分	側③生理食塩液 250mL デキサート注 6.6mg  ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ	1B 2V	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL, 150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録  <math>6\text{mg/kg} \rightarrow 0.286\text{mL/kg}</math>  <math>8\text{mg/kg} \rightarrow 0.381\text{mL/kg}</math> </li> </ul> <p><b>【レジメンシステム登録】</b></p> <p>02019-1B VNR(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回ケール用</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録</li> </ul> </p> <p>02019-2B VNR(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ケール目以降用</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録</li> </ul> </p>
<b>備 考</b>			
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。			

02020

乳 癌

ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3 投 1 休)

申請科  
外科

H23.11 承認 H30.9 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R4.12 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
パクリタキセル (paclitaxel)	90mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15 3投1休
ベバシズマブ (Bevacizumab)	10mg/kg	div.(初回 90 分、2 回目 60 分、以後 30 分; 忍容性見ながら)	day1、15

4週毎 耐性になるまで (外来)化療ペット予約: day1,15 は 3 時間、day8 は 2 時間で登録

## Regimen

10 分	<b>day1、15</b>			10 分	<b>day8</b>		
	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※1 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A				メイン①生理食塩液 100mL 1B ※1 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B	30 分	側①生理食塩液 50mL 1B	60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B		
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg	(5 分)	全開		パクリタキセル点滴静注液( )mg	側③生理食塩液 50mL 1B	
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B		<b>備 考</b>				
※2			<b>※1 デキサート注</b> 1週目6. 6mg、2週目3. 3mg、3週目1. 65mg				
90 分	側④生理食塩液 100mL 1B		<b>※2 ベバシズマブの投与時間</b> ; 初回は 90 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。				
60 分	ベバシズマブ ( )mg		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回は入院のうえ、モニターを装着して行う。</li> <li>・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。</li> </ul>				
30 分			<b>【レジメンシステム登録】</b>				
全開 (5 分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B		02020-2B ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3 投 1 休) ・ベバシズマブ投与時間 day1・15 ともに 90 分で登録				

02021

乳 瘤

CMF (original)

申請科
外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	100mg／body	p. o.	day1～14
メソトレキセート (methotrexate)	40mg／m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg／m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

(外来)化療ベット予約:30分で登録

## Regimen

内服 全開 (5分) 全開 (5分) 全開 (5分) 全開 (5分)	<b>day1～14</b> エンドキサン錠(50) 2錠 分2朝・夕食後 14日分	1B	<b>備 考</b>  【レジメンシステム登録】 02021-1B CMF(original)(入院用) ・エンドキサンはレジメン内の処方に登録 02021-2B CMF(original)(外来用) ・エンドキサンは実施日に処方オーダー
	<b>day1、8</b> メイン①生理食塩液 50mL		
	側①生理食塩液 50mL		
	メソトレキセート ( )mg		
	側②生理食塩液 50mL		
	フルオロウラシル注 ( )mg		

02022

乳 瘤

CMF (modified)

申請科
外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

化療ベット予約:1時間 30 分で登録

## Regimen

全開 (5分)	<b>day1, 8</b>		
	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B		
	側①生理食塩液 50mL 1B メソトレキセート ( )mg		
	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg		<b>備 考</b>
	側③生理食塩液 50mL 1B フルオロウラシル注 ( )mg		<b>【レジメンシステム登録】</b> 02022-1B CMF(modified)
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		

02023

乳 瘤

CPT-11 original(3 投 2 休)

申請科
外科

H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1 クール)
イリノテカン塩酸塩 (irinotecan)	80~100mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1・8・15 3投2休

3投2休

5週間毎

耐性になるまで

化療ベット予約:2時間 30 分で登録

## Regimen

30 分	day1, 8, 15 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		
	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B イリノテカン塩酸塩 ( )mg		
	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02023-1B CPT-11 original(3 投 2 休) •CPT-11 100mg/m <sup>2</sup> で入力登録			

02024

乳癌

Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ  
(3w)申請科  
外科

H25.10登録 H27.7改訂 H30.9改訂 R2.6改訂 R3.5改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
ページェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min以上) (2回目以降30min)※	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min)※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h以上)	day1

3週毎 耐性になるまで

ページェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。  
化療ベット予約:3時間で登録

## Regimen

	day1		
5分	メイン①生理食塩液50mL	1B	
※			
60分	側①ページェタ ( )mg	1B	
or	生理食塩液 250mL		
30分			
90分	側②トラスツズマブ ( )mg	1B	
or	生理食塩液 250mL		
30分	大塚蒸留水 100mL	1B	
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30分	側③グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg デキサート注 6.6mg	1B 1V	
60分	側④5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル注 ( )mg	1B	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL	1B	
	備考		
		※ページェタ・トラスツズマブは初回投与の耐容性が良好であれば、 2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側③)は側管から 投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、 必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg	
	【レジメンシステム登録】		
	02024-1A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・Perjeta 投与時間 60 分で入力 ・トラスツズマブ投与時間 90 分で入力 02024-2A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・Perjeta 投与時間 30 分で入力 ・トラスツズマブ投与時間 30 分で入力		

02027

乳癌

力ドサイラ療法

申請科

外科

H26.5 登録、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R4.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
カドサイラ (trastuzumab emtansine)	3. 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	day1

3週毎

化療ベット予約: 1時間で登録

## Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B	
	※		
	90分 側①生理食塩液 250mL or カドサイラ ( )mg	1B	
	30分 大塚蒸留水100mL (カドサイラは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	
	全開(5分) 側②生理食塩液 50mL	1B	
<b>備 考</b>			<p>※カドサイラは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を通して使用すること。</li> <li>・カドサイラは蒸留水(100mg:5.0mL、160mg:8.0mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録 <math>3.6\text{mg/kg} \rightarrow 0.18\text{mL/kg}</math></li> </ul> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02027-1A カドサイラ療法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カドサイラ投与時間 90分で登録</li> </ul>

02028

乳癌

エリブリン+トラスツズマブ療法

申請科

外科

H26.8 承認 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

H 薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1 クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	Day1
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1.4mg/m <sup>2</sup>	div(2~5分)	Day1、8

3週毎 6サイクル(効果のある限り)

化療ベット予約:day1は1時間、day8は30分で登録

## Regimen

5分	<b>day1</b>		
	メイン①生理食塩液50mL	1B	
※			
90分	側①生理食塩液 250mL	1B	
or	トラスツズマブ ( )mg		<b>備 考</b>
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
5分	メイン②生理食塩液 50mL デキサート注 6.6mg	1B 1V	<p>※トラスツズマブは初回投与の忍受性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリブリン+トラスツズマブ療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を行う場合あり</li> <li>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録 <math>6\text{mg/kg} \rightarrow 0.286\text{mL/kg}</math> <math>8\text{mg/kg} \rightarrow 0.381\text{mL/kg}</math></li> </ul>
5分	側②生理食塩液 50 mL ハラヴェン静注 ( )mg	1B	
全開 (5分)	側③生理食塩液50mL	1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02028-1B エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回
5分	<b>day8</b>		
5分	メイン①生理食塩液 50mL デキサート注 6.6mg	1B 1V	02028-2B エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q 以降
5分	側①生理食塩液 50 mL ハラヴェン静注 ( )mg	1B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Halaven 投与時間 5 分で登録</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 初回は 90 分、2q 以降は 30 分で登録</li> </ul>
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	

02029

乳癌

## Doc+CBDCA+トラスツズマブ (3W)療法

申請科

外科

平成 26.9 登録 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.9 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (60min)	day1
カルボプラチナ (carboplatin)	AUC=6	div. (60min)	day1

3週毎

化療ベット予約:3時間30分で登録

## Regimen

	day1	備 考
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
※		・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。
90分	側①生理食塩液 250mL 1B	・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。
30分	トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg → 0.286mL/kg 8mg/kg → 0.381mL/kg
30分	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 2V	< CBDCA AUC ≥ 4 中等度 : 推奨制吐剤 > 現行に追加 アプレピタント処方する場合はデキサート 3.3mg (1.65mg/2A) に変更 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3 デカドロン錠 4mg 分1 day2、3 ・アプレピタント・デカドロンは内服処方オーダー
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg	
60分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B カルボプラチナ ( )mg	【レジメンシステム登録】 ・カルボプラチナは 60 分で登録
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B	・トラスツズマブ投与時間 02029-1A Doc+ CBDCA+トラスツズマブ(3W)(8mg)(初回) 90 分で登録 02029-2A Doc+ CBDCA+トラスツズマブ(3W)(6mg)(2q 以降) 30 分で登録 ・2018年6月委員会にて投与順序変更を承認 DTX → CBDCA → トラスツズマブから トラスツズマブ → DTX → CBDCA に変更 (乳癌診療ガイドライン参照)

02030	乳癌	ペルツズマブ+トラスツズマブ +Paclitaxel	申請科 外科
-------	----	-------------------------------	-----------

H27.2 登録、H27.7 改訂、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R6.10 改訂

H 薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1 ケール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2回目以降30min)※1	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min)※1	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (60分)	day1、8、15

### 3週毎、耐性になるまで

パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。

(外来)化療ベット予約: day1 は 3 時間 30 分、day8,15 は 2 時間で登録

### Regimen

	day1	備考
5分	メイン①生理食塩液50mL 1B	
60分	側①生理食塩液 250mL 1B	
※1	パージェタ ( )mg	
90分	側②生理食塩液 250mL 1B	
※1	トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	※1 パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。2回目以降は30分で登録 ※2 デキサート注 初回6.6mg、2回目3.3mg、3回目1.65mg
10分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	・day8-15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
30分	側③生理食塩液 50mL 1B	
60分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B <b>day8-15</b>	
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	02030-5A PHP(初回)(1週目) DEX6.6mg 02030-6A PHP(初回)(2週目) DEX3.3mg 02030-7A PHP(DEX1.65mg) ・初回の3週目及び2qの2週目以降用 02030-8A PHP(2q以降)(1週目) DEX1.65mg
30分	側①生理食塩液 50mL 1B	
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	

02031

乳癌

dose-denseEC 療法

申請科

外科

H28.10 承認 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂 R4.6 改訂 R4.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	90mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
ジーラスタ皮下注 (Pegfilgrastim)	3.6mg	皮下	化学療法終了 24~72 時間後

2週毎

術前・術後 4クール

エピルビシン 900mg/m<sup>2</sup>まで

引き続きパクリタキセル療法を行うこともあり

化療ベット予約: 1時間で登録

## Regimen

15分	<b>day1</b> メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
		<b>備 考</b>	
5分	側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( )mg	・支持療法はセット処方でオーダー アプレピタント 125mg 1CP 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分1朝食後 day2,3 デカドロン 0.5mg 8錠分2朝昼食後 day2~4 ロゼバム 0.5mg 2錠分2朝夕食後 day1 夕~day4 ハミン 5mg 3錠分3毎食後 day1 夕~day4	
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	・ペグフィルグラスチムは未登録。 外来予約注射でオーダーする。 抗がん剤投与終了後、24時間以降 4日後位 (day2~5)までに皮下注射する。	
皮下	<b>day2~5のうちに1回投与</b> ジーラスタ皮下注 3.6mg 1本	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02031-1A dose-denseEC 療法	

02032

乳癌

TC+トラスツズマブ(3w)

申請科  
乳腺外科

H30.6 登録 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 **R3.5 改訂**

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h 以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div. (15min 以上)	day1

3週毎

4クール

化療ベット予約: day1 は 3 時間で登録

Regimen

	<b>day1</b>		
5分	メイン①生理食塩液50mL	1B	
※			<b>備 考</b>
90分	側①生理食塩液 250mL	1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
or	トラスツズマブ ( )mg		・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		・TC+トラスツズマブ(3w)療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を計1年間になるように施行
30分	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 2V グラニセトロン注 1mg 1A		・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 $6\text{mg/kg} \rightarrow 0.286\text{mL/kg}$ $8\text{mg/kg} \rightarrow 0.381\text{mL/kg}$
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル ( )mg	1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02032-1A TC+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録
30分	側④生理食塩液 250mL エンドキサン注 ( )mg	1B	02032-2A TC+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
全開 (5分)	側⑤生理食塩液50mL	1B	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02033	共通	乳癌	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; 0 ~ 1 (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
テセントリク (atezolizumab)	840 mg/body	div (初回 60min) (2回目以降 30min)	Day1,15	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div(30min)	Day1,8,15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎	化療ベット予約:day1,15は2時間、 day8は1時間で登録		
Radiation併用 無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL)= $\frac{100\text{mg}}{\text{m}^2 \times \text{体表面積}} \times 20\text{mL}$	
5分	day1、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B		備考  ※テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・基本的に前投薬は行わないが、サイクル1でinfusion reactionが発現した場合、抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン)の前投薬を考慮。 ・テセントリクはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。 (アブラキサンはフィルターを通さないこと)	
※ 60分	側①テセントリク 840mg 1V 生理食塩液 250mL 1B			
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		【レジメンシステム登録】  02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1のみ 60分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30分で登録	
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B			
30分	側④(側③と同一路由から) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( ) mg		02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1のみ 60分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30分で登録	
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一路由から) 生理食塩液 50mL 1B			
5分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B		02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1のみ 60分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30分で登録	
30分	側①生理食塩液( ) mL アブラキサン( ) mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02034-1A~8A	共通	乳がん	<a href="#">トラスツズマブ(3w)+パクリタキセル療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ 薬 (まで)			■adjvant ■neoadjuvant ■再発・進行 □その他( )	
剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
トラスツズマブ (Trastuzumab:TRZ)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min)※1 div. (60分)	day1	
パクリタキセル(Paclitaxel:PTX)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (60分)	day1、8、15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎 術前・術後:PTX12週、TRZ1年 進行・再発・耐性になるまで		化療ベット予約:day1は3時間30分、 day8,15は2時間で登録	
Radiation 併用 無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	備考		
5分 90分 ※1	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。2回目以降は30分で登録 ※2 デキサート注 初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg ・day8-15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL, 150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02034-5A トラスツズマブ(3w)+パクリタキセル(←以下HP) (1q目)(1週目) DEX6.6mg 02034-6A HP(3w)(1q目)(2週目) DEX3.3mg 02034-7A HP(3w)(DEX1.65mg) ・初回の3週目及び2qの2週目以降用 02034-8A HP(3w)(2q以降)(1週目) DEX1.65mg		
10分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注5mg 1A			
30分 60分	側②生理食塩液 50mL 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg			
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B			
10分	day8-15 メイン①生理食塩液 100mL 1V ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注5mg 1A			
30分 60分	側①生理食塩液 50mL 1B 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg			
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
02035-1A~2A	共通	乳がん	<a href="#">ドーズデンスパクリタキセル療法</a>	乳腺外科	
適応患者					
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV		<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/>			
PS; ~ (まで)		その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間					
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)		
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	175mg/m <sup>2</sup>	div.	day1		
ジーラスタ皮下注	3.6mg	皮下注	化学療法終了 2-5 日後		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎・4回	化療ペット予約: 4 時間で登録			
Radiation併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr				
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート				
10 分  30 分  180 分  全開 (5 分)  皮下	<b>day1</b> メイン① 生理食塩液 100mL 1B デキサート注6.6mg 3V ファモチジン注20mg 1V ポララミン注5mg 1A  側① 生理食塩液 50mL 1B  側② 5%ブドウ糖液 500mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg  側③ 生理食塩液 50mL 1B  <b>day2~5のうちに1回投与</b> ジーラスタ皮下注3.6mg 1本				
				備考	
				・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。  ・ペグフィルグラスマムは未登録。 外来予約注射でオーダーする。 抗がん剤投与終了後、24 時間以降 4 日後位(day2~5)までに皮下注射する。	
				【レジメンシステム登録】	
				02035-2A ドーズデンスパクリタキセル療法	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02036	共通	乳癌	<u>ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+</u> <u>カルボプラチナ療法(3週間間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>			□adjuvant □ neoadjuvant ■再発・進行	
PS; ~ (まで)			■その他(PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性)	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	Day1	
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8	
カルボプラチナ (carboplatin)	AUC2	div(1時間)	Day1、8	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回	化療ペット予約: Day1: 2時間30分 Day 8: 2時間で登録		
Radiation併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	5分	Day 8	
5分	Day 1 メイン①生食 50mL 1B		メイン① グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6 mg 1V	
30分	側①生食 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( ) mg	
5分	側②生食 50mL 1B	1時間	側②生理食塩液 250mL 1B カルボプラチナ ( ) mg	
	メイン②	5分	側③生理食塩液 50mL 1B	
5分	グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6 mg 1V		<b>備考</b>	
30分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( ) mg		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> </ul>	
1時間	側④生理食塩液 250mL 1B カルボプラチナ ( ) mg		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> <li>キイトルーダによりinfusion reactionが発現する事があるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>	
5分	側⑤生理食塩液 50mL 1B		<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02036-1A ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+ カルボプラチナ療法(3週間間隔)</p>	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること</li> </ul>				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02037	共通	乳がん	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)</a>	乳腺外科
<b>適応患者</b>				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>			□ adjuvant □ neoadjuvant <b>■再発・進行</b>	
PS; ~ (まで)			<b>■その他(PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性)</b>	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg /body	div(30分)	Day1、22、43、64 84日毎	
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	90mg/m <sup>2</sup>	div(60分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71	84日毎
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回	化療ペット予約:ペムブロリズマブ単独日:1時間、 ペムブロリズマブ+パクリタキセル併用日:2時間30分、 パクリタキセル単独日:2時間で登録		
Radiatio 併用 有・ <b>無</b>	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
<b>レジメン</b>				
投与時間	投与日及び投与ルート		Day22	
5分	<u>Day1、43、64</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	側②生理食塩液 50mL 1B	
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		※レジメンシステムは 12週で登録	
30分	側①生理食塩液 50mL 1B		備考	
60分	側②大塚糖液5% 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること</li> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> <li>キイトルーダにより infusion reaction が発現する事があるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>	
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL 1B <u>Day8、15、29、36、57、71</u>		<p>※デキサート注</p> <p>初回 6.6mg、2回目3.3mg、 3回目以降1.65mg</p>	
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		<p>・PTX投与時の側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。</p>	
30分	側①生理食塩液 50mL 1B			
60分	側②大塚糖液5% 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg			
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL 1B			

【レジメンシステム登録】

02037-1A ペムブロリズマブ(3 週間隔) + パクリタキセル療法(12 週  
間隔) 1 ケール目

02037-2A ペムブロリズマブ(3 週間隔) + パクリタキセル療法(12 週  
間隔) 2 ケール目以降

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02038	共通	乳がん	<u>ペムブロリズマブ(400mg 6週間間隔) +パクリタキセル療法(12週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> ■再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> ■その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量		投与経路及び時間	投与方法(1クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg /body		div(30分)	Day1、43 84日毎
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	90mg/m <sup>2</sup>		div(60分)	Day1、8、15、29、36、43、57、 64、71 84日毎
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回		化療ベット予約: ペムブロリズマブ+パクリタキセル併用日:2時間30分、 パクリタキセル単独日:2時間で登録	
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回	Gy × 日、 Total	Gy × Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			※レジメンシステムは12週で登録
	<u>Day1、43</u>			備考
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	・ペムブロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)で忍容性確認後、ペムブロリズマブ(400mg 6週間間隔)のレジメンに移行する。	
30分	側①生理食塩液 100mL	1B		
	キイトルーダ 100mg	4V		
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること	
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B	・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること	
	※デキサート注 ( )mg		・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること	
	ファモチジン注 20mg	1V	・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。	
30分	側①生理食塩液 50mL	1B	※デキサート注	
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B	初回 6.6mg、2回目3.3mg、3回目以降1.65mg	
	パクリタキセル点滴静注液( )mg		・PTX投与時の側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。	
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B	【レジメンシステム登録】	
	<u>Day8、15、29、36、57、64、71</u>		02038-1A ペムブロリズマブ(400mg 6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)1クール目	
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B	02038-2A ペムブロリズマブ(400mg 6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)2クール目以降	
	※デキサート注 ( )mg			
	ファモチジン注 20mg	1V		
	ポララミン注 5mg	1A		
30分	側①生理食塩液 50mL	1B		
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B		
	パクリタキセル点滴静注液( )mg			
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		

## R4.3 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02039	共通	乳がん	<u>ペムブロリズマブ（3週間隔）+ nab-Paclitaxel 療法（12週間隔）</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> P S ; ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg /body	div (30分)	Day1、22、43、64 84日毎	
アブラキサン (Paclitaxel アルブシン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div (60分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71 84日毎	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回	化療ベット予約：ペムブロリズマブ単独日：1時間、 ペムブロリズマブ+アブラキサン併用日：1時間30分、 アブラキサン単独日：1時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	投与時間	投与日及び投与ルート	
5分	<u>Day1、43、64</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	5分	<u>Day8、15、29、36、57、71</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	30分	側①生理食塩液 ( ) ※アブラキサン ( ) mg	
5分	側②生理食塩液 50ml 1B	全開	側②生理食塩液 50mL 1B	
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B	(5分)		
30分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( ) mg		※アブラキサン 100mg (1V)あたり生理 食塩液 20mL で溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量 (mL) = 100mg / m <sup>2</sup> × 体表面積 _____ × 20mL	
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B		100mg	
	<u>Day22</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	備考		
5分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること</li> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</li> </ul>		
30分	側②生理食塩液 50mL 1B			
全開 (5分)				

- ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。
- ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。
- ・キイトルーダはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。  
(アブラキサンはフィルターを通さないこと)

【レジメンシステム登録】

02039-1A

ペムプロリズマブ (3 週間隔) + nab-Paclitaxel 療法

(12 週間隔)

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02040	共通	乳がん	<u>ペムブロリズマブ (400mg 6週間隔)</u> <u>+nab-Paclitaxel 療法 (12週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> P S ; ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性)	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg /body	div (30分)	Day1、43	84日毎
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div (60分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71	84日毎
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回	化療ベット予約： ペムブロリズマブ+アブラキサン併用日：1時間30分、 アブラキサン単独日：1時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	投与時間	投与日及び投与ルート	
5分	<u>Day1、43</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	5分	<u>Day8、15、29、36、57、64、71</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 4V	30分	側①生理食塩液 ( ) ※アブラキサン ( ) mg	
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	全開	側②生理食塩液 50mL 1B	
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B	(5分)		
30分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( ) mg		備 考	
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B		<ul style="list-style-type: none"> <li>ペムブロリズマブ(3週間隔) +nab-Paclitaxel 療法(12週間隔)で忍容性確認後、ペムブロリズマブ(400mg 6週間隔)のレジメンに移行する。</li> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること</li> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> </ul>	
	※アブラキサン 100mg (1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = 100mg / m <sup>2</sup> × 体表面積 _____ × 20mL 100mg			
<b>-キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後</b>				

・バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。

・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。

・キイトルーダはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。  
(アブラキサンはフィルターを通さないこと)

【レジメンシステム登録】

02040-1A ペムブロリズマブ(400mg 6週間隔)+nab-Paclitaxel療法(12週間隔)

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02041-1A	共通	再発または転移性乳癌	<u>ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <u>IIIc</u> <u>IV</u> PS; 0~1( )まで			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間		投与方法(1クール)
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン 懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div(30分)		day1,8,15
ベバシズマブ (Bevacizumab)	10mg/kg	div(初回 90分、2回目 60分、 以降 30分; 忍容性みながら)		day1,15
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎 可能なかぎり継続	化療ペット予約: day1,15 は 1.5 時間、day8 は 1 時間で登録		
Radiation 併用 有 <sup>無</sup>	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	5分	day8	
5分	day1, 15 メイン①生理食塩液 50mL 1B	30分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	1B
30分	側①生理食塩液 ( )mL ※アブラキサン( )mg	全開(5分)	側②生理食塩液 50mL 1B	1B
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		備考	
※1 90分 60分 30分	側③生理食塩液 100mL 1B ベバシズマブ ( )mg		<p>※1 ベバシズマブの投与時間: 初回は 90 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2回目 60 分、以降 30 分とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、特定生物由来製品使用同意書を得る。</li> <li>投与時、インラインフィルターは使用しない。</li> </ul>	
全開(5分)	側④生理食塩液 50mL 1B  ※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL)=  100mg/m <sup>2</sup> × 体表面積 _____ × 20mL 100mg		<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02041-1A ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法 ・ベバシズマブ投与時間 day1,15 ともに 90 分で登録</p>	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02042-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+パクリタキセル</u> <u>+カルボプラチナ(3週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input checked="" type="checkbox"/> IV PS; 0~1( )まで			□adjuvant ■ neoadjuvant □再発・進行 □その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1	
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div(60分)	day1, 8, 15	
カルボプラチナ (Carboplatin)	AUC5	div(30分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・4回	化療ペット予約: Day1: 3時間、Day8, 15: 2時間で登録		
Radiation併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		30分	側①生理食塩液 50mL 1B
5分	<b>day1</b>		60分	側②大塚糖液 5% 250mL 1B
	メイ①生理食塩液 50mL	1B		パクリタキセル ( ) mg
30分	側①生理食塩液 100mL	1B	5分(全開)	側③生理食塩液 50mL 1B
	キイトルーダ 100mg	2V		
5分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B	<b>備考</b>	
	メイ②生理食塩液 100mL	1B	<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること</li> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるよう調製すること</li> <li>キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</li> <li>キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>パクリタキセル投与時の day8, 15 の側①生食はドリップアイを使用し、滴下時間(30分)を調節するため側管から投与</li> </ul>	
10分	デキサート注 6.6mg	1V	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプレピタント・デカドロンは内服処方オーダー</li> </ul>	
	ファモチジン注 20mg	1V	<p>アプロレピタント処方する場合はデキサート 3.3mg (1.65mg 2A) に変更推奨</p>	
30分	ポララミン注 5mg	1A	<p>アプロレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1</p>	
	メイ③パロセトムol点滴静注バッグ 0.75mg 1B		<p>アプロレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2, 3</p>	
60分	側③大塚糖液 5% 250mL	1B	<p>デカドロン錠 0.5mg 8錠 分2 朝昼食後 day2~4</p>	
	パクリタキセル ( ) mg			
30分	側④大塚糖液 5% 250mL	1B	【レジメンシステム登録】	
	カルボプラチナ ( ) mg			
5分(全開)	側⑤生理食塩液 50mL	1B		
<b>day8, 15</b>				
10分	メイ①生理食塩液 100mL	1B	<p>02042-1A ペムブロリズマブ+パクリタキセル</p>	
	デキサート注 6.6mg	1V	<p>+カルボプラチナ(3週間隔)</p>	
	ファモチジン注 20mg	1V		
	ポララミン注 5mg	1A		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02043-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+パクリタキセル</u> <u>+カルボプラチニ(1週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV PS; 0~1( )まで			<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量		投与経路及び時間	投与方法(1クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body		div(30分)	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>		div(60分)	day1, 8, 15
カルボプラチニ (Carboplatin)	AUC1.5		div(30分)	day1, 8, 15
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・4回	化療ベット予約: Day1: 3時間、Day8, 15: 2.5時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		30分	メイ <sup>②</sup> グラニセトロン点滴注バッゲ 1B
5分	<b>day1</b>		60分	側①大塚糖液 5% 250mL 1B
	メイ <sup>①</sup> 生理食塩液 50mL 1B	パクリタキセル ( ) mg		
	側①生理食塩液 100mL 1B	側②大塚糖液 5% 250mL 1B		
	キイトルーダ 100mg 2V	カルボプラチニ ( ) mg		
	側②生理食塩液 50mL 1B	側③生理食塩液 50mL 1B		
30分	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μm) を使用すること</li> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</li> <li>キイトルーダにより infusion reaction が発現するため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>②</sup> 生理食塩液 100mL 1B	側③大塚糖液 5% 250mL 1B		
	デキサート注 6.6mg 1V	パクリタキセル ( ) mg		
	ファモチジン注 20mg 1V	側④大塚糖液 5% 250mL 1B		
	ポララミン注 5mg 1A	カルボプラチニ ( ) mg		
60分	<b>day8、15</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>③</sup> グラニセトロン点滴注バッゲ 1B	【レジメンシステム登録】		
	側③大塚糖液 5% 250mL 1B	02043-1A ペムブロリズマブ+パクリタキセル		
	パクリタキセル ( ) mg	+カルボプラチニ(1週間隔)		
	側④大塚糖液 5% 250mL 1B			
30分	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	カルボプラチニ ( ) mg			
	側⑤生理食塩液 50mL 1B			
	メイ <sup>①</sup> 生理食塩液 100mL 1B			
	デキサート注 6.6mg 1V			
5分(全開)	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>②</sup> 生理食塩液 100mL 1B			
	デキサート注 6.6mg 1V			
	ファモチジン注 20mg 1V			
	ポララミン注 5mg 1A			
10分	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>③</sup> グラニセトロン点滴注バッゲ 1B			
	側③大塚糖液 5% 250mL 1B			
	パクリタキセル ( ) mg			
	側④大塚糖液 5% 250mL 1B			
30分	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	カルボプラチニ ( ) mg			
	側⑤生理食塩液 50mL 1B			
	メイ <sup>①</sup> 生理食塩液 100mL 1B			
	デキサート注 6.6mg 1V			
60分	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>②</sup> 生理食塩液 100mL 1B			
	デキサート注 6.6mg 1V			
	ファモチジン注 20mg 1V			
	ポララミン注 5mg 1A			
30分(全開)	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>③</sup> グラニセトロン点滴注バッゲ 1B			
	側③大塚糖液 5% 250mL 1B			
	パクリタキセル ( ) mg			
	側④大塚糖液 5% 250mL 1B			
5分(全開)	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	カルボプラチニ ( ) mg			
	側⑤生理食塩液 50mL 1B			
	メイ <sup>①</sup> 生理食塩液 100mL 1B			
	デキサート注 6.6mg 1V			
10分	<b>備 考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>デカドロン錠は適宜内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> </ul>	
	メイ <sup>②</sup> 生理食塩液 100mL 1B			
	デキサート注 6.6mg 1V			
	ファモチジン注 20mg 1V			
	ポララミン注 5mg 1A			

## R4.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02044-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<a href="#">ペムブロリズマブ+EC</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV PS; 0~1( )まで			<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1ケールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(ケール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量		投与経路及び時間	投与方法(1ケール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body		div(30 分)	day1
エピルビシン塩酸塩 (Epirubicin)	90mg/m <sup>2</sup>		div(5 分)	day1
エンドキサン (Cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>		div(30 分)	day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3 週毎・4 回		化療ベット予約: 1 時間 30 分	
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回	Gy × 日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			備考
	day1			
5 分	メイン①生理食塩液	50mL	1B	<p>・原則、ペムブロリズマブ+PTX+CBDCA 4 サイクル投与後に使用</p> <p>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μ m) を使用すること</p> <p>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</p> <p>・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</p> <p>・キイトルーダにより infusion reaction が発現するがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</p> <p>・患者リスクに応じてペグフィルグラスチムの投与を考慮 (外来予約注射でオーダー・抗がん剤投与終了後 24 時間以降 4 日後くらい(day2~5)までに皮下注射する)</p> <p>・支持療法はセット処方でオーダー</p> <p>アブレピタト 125mg 1CP 分1 化学療法前</p> <p>アブレピタト 80mg 1CP 分1 朝食後 day2,3</p> <p>デカトロン錠 0.5mg 8錠 分2 朝昼食後 day2-4</p> <p>ロゼバム錠 0.5mg 2錠 分2 朝夕食後 day1 夕-day4</p> <p>ハシミ錠 5mg 3錠 分3 每食後 day1 夕-day4</p> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02044-1A ペムブロリズマブ+EC</p>
30 分	側①生理食塩液	100mL	1B	
	キイトルーダ	100mg	2V	
5 分(全開)	側②生理食塩液	50mL	1B	
15 分	メイン②ロセトロン点滴静注パック 0.75mg	1B		
	デキサート注 6.6mg	1B		
5 分	側③生理食塩液	50mL	1B	
	エピルビシン塩酸塩 ( ) mg			
30 分	側④生理食塩液	250mL	1B	
	エンドキサン ( ) mg			
5 分(全開)	側⑤生理食塩液	50mL	1B	

## R4.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
02045-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<a href="#">ペムブロリズマブ（術後)(3w)(乳癌)</a>	乳腺外科	
適応患者					
病期(stage); I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV PS; 0~1( )まで			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間					
薬品名	1回(1日)投与量		投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body		div(30 分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・9回		化療ベット予約: 1時間		
Radiation 併用 有・無	1回	Gy × 日、 Total	Gy ×	Fr	
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート				
5分	day1  メイン①生理食塩液 50mL  側①生理食塩液 100mL キイトルーダ 100mg  側②生理食塩液 50mL		<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>術前薬物療法として、キイトルーダ併用療法を行った場合に、術後療法として投与</li> <li>キイトルーダは 200mg (3週毎・9回) と 400mg(6週毎・5回)を投与開始時に選択、途中で切り替え可能</li> <li>キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μm) を使用すること</li> <li>キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</li> <li>キイトルーダにより infusion reaction が発現するがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> </ul> <p>【レジメンシステム登録】 02045-1A ペムブロリズマブ(術後)(3w)(乳癌)</p>		
					30分
					5分(全開)

## R4.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02046-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<a href="#">ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV PS; 0~1( )まで			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ(Pembrolizumab)	400mg/body	div(30 分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	6 週毎・5 回	化療ベット予約: 1 時間		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5 分	<b>day1</b>		<b>備 考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・術前薬物療法として、キイトルーダ併用療法を行った場合に、術後療法として投与</li> <li>・キイトルーダは 200mg (3 週毎・9 回) と 400mg (6 週毎・5 回) を投与開始時に選択、途中で切り替え可能</li> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μm) を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダにより infusion reaction が発現するがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> </ul>	
	メイン①生理食塩液 50mL	1B		
	側①生理食塩液 100mL	1B		
	キイトルーダ 100mg	4V		
5 分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B		
			【レジメンシステム登録】 02046-1A <a href="#">ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)</a>	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
2047-1A	共通	化学療法歴のある HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌	<a href="#">トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; 0~1 (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投回事数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
エンハーツ (Trastuzumab Deruxtecan)	5.4mg/kg	div (初回 90 分) (2 回目以降 30 分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投回事数(End point)	3 週毎	化療ベット予約: 1.5 時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
30 分	day1		<b>備考</b> ※エンハーツは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる <ul style="list-style-type: none"> <li>・インラインフィルター (0.2 μm) を通して使用すること</li> <li>・点滴バックを遮光すること</li> <li>・調製後4時間以内に使用すること</li> <li>・エンハーツは蒸留水(100mg:5.0mL)で溶解し、必要量を抜き取り、5%ブドウ糖液100mLに希釈する</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録  <math>5.4\text{mg/kg} \rightarrow 0.27\text{mL/kg}</math></li> <li>・デカルロンは内服処方オーダ            テカルロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4</li> <li>・アプレピタント、オランザピンは患者状態に応じて適宜内服処方オーダ            アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前            アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2, 3            オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 寢る前  <u>但し、オランザピンは糖尿病の患者・既往のある患者への投与は禁忌</u></li> </ul> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02047-1A トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)</p>	
	10 分	側①5%ブドウ糖液 100mL		
※	側②5%ブドウ糖液 100mL	1B		
90 分 又は 30 分	エンハーツ ( )mg 大塚蒸留水 100mL	1B		
	(エンハーツは必要量の蒸留水で溶解しています)			
10 分 (全開)	側③5%ブドウ糖液 100mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
2048	共通	HER2 陽性乳癌	<u>フェスゴ配合皮下注療法</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IIIc <input type="checkbox"/> IV PS; 0 ~ 1 (まで)			■adjuvant ■ neoadjuvant ■再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
フェスゴ配合皮下注 (Pertuzumab:Per) (Trastuzumab:TRZ) (Vorhyaluranidase Alfa:VA)	初回: フェスゴ IN (Per:1200mg、 TRZ:600mg、 VA:30000U)  2回目以降: フェスゴ MA (Per:600mg、 TRZ:600mg、 VA:20000U)	皮下注射(大腿部)  初回:8分以上かけて  2回目以降:5分以上かけて	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回  術前・術後療法:  12か月まで  進行再発:  効果がある限り継続	化療ベット予約: 0.5 時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	備考		
初回 8 分以上	Day1  フェスゴ皮下注 初回 フェスゴ配合皮下注 IN 15mL	<ul style="list-style-type: none"> <li>初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与</li> <li>2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与</li> <li>予定された投与が遅れた場合は、以下のとおり投与することが望ましい。</li> </ul> <p>前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ配合皮下注 MA)</p>		
	2回目以降  フェスゴ配合皮下注 MA 10mL  ※薬剤部でシリンジに採取し、 ニプロ コンビキャップを装着し、払出し	<p>前回投与日から6週間以上のとき: 改めて初回投与量(フェスゴ配合皮下注 IN)を投与し、次回以降は維持投与量を3週間間隔で投与</p> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>2048-1A:【初回】フェスゴ配合皮下注 IN 2048-2A:フェスゴ配合皮下注 MA(維持)</p>		
R6.9 登録 R6.10 改訂				
コード	分類	病名	レジメン名称	申請科

2049	共通	HER2 陽性乳癌	<a href="#">PTX+フェスゴ配合皮下注</a>	乳腺外科		
適応患者						
病期(stage) ; I <input checked="" type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IIIc <input type="checkbox"/> IV PS; 0 ~ 1 (まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間						
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)			
フェスゴ配合皮下注 (Pertuzumab:Per) (Trastuzumab:TRZ) (Vorhyaluranidase Alfa: VA)	初回: フェスゴ IN (Per:1200mg TRZ:600mg VA:30000U)  2回目以降: フェスゴ MA (Per:600mg TRZ:600mg VA:20000U)  <b>80mg/m<sup>2</sup></b>	皮下注射(大腿部)  初回:8分以上かけて  2回目以降:5分以上かけて  div. (60分)	Day1  Day1、8、15			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回 術前・術後療法: 12か月まで 進行再発: 効果がある限り継続	化療ベット予約: Day1は2時間30分 Day8.15は2時間で登録				
Radiatio併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr					
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート	10分 30分 60分 全開(5分)	<b>day8・15</b> メイン①生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A 側①生理食塩液 50mL 1B 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg 側③生理食塩液 50mL 1B			
ルートキープ (2時間)  初回 8分以上 2回目以降 5分以上  10分  30分 60分  全開(5分)	<b>day1</b> メイン①生理食塩液 100mL 1B ①フェスゴ皮下注 初回 フェスゴ配合皮下注 IN 15mL 2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA 10mL ※薬剤部でシリンジに採取し、ニプロ コンビキャップを装着し、払出し ◆フェスゴ投与30分後、前投薬開始。2回目以降は15分。生食の残液は廃棄 メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A 側②生理食塩液 50mL 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg 側④生理食塩液 50mL 1B		<b>備考</b> ・フェスゴ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与する。(初回 30分、問題なければ2回目以降 15分) ・フェスゴは初回投与時は、8分以上かけて、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与 ・フェスゴは予定された投与が遅れた場合は、以下のとおり投与することが望ましい。			

前回投与日から6週間未満のとき：  
維持投与量(フェスゴ配合皮下注 MA)

前回投与日から6週間以上のとき：  
改めて初回投与量(フェスゴ配合皮下注 IN)を投与し、次回  
以降は維持投与量を3週間間隔で投与

※2 デキサート注

初回6.6mg、2回目3.3mg、3回目1.65mg  
・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)  
を調節するため側管から投与。

【レジメンシステム登録】

2049-1A (1-1)PTX+フェスゴ配合皮下注 IN(DEX6.6mg)  
2049-2A (1-2)PTX+フェスゴ(DEX3.3mg)  
2049-3A (1-3 以降)PTX+フェスゴ(DEX1.65mg)  
2049-4A (2-1 以降)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA  
(DEX1.65mg)